

## 平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

### 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

1 実践テーマ	【 III 】										
2 実施対象者	桂川町立桂川中学校 3年生 93名										
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（保健体育）										
4 目標 (ねらい)	体育の授業を通して、パラリンピックや障がい者スポーツへの興味・関心を高めるとともに、オリンピズムの教育的価値（努力の喜び・フェアプレイ・他者への尊敬・卓越性の追求・バランスのとれた身徳知）を知り、スポーツの楽しさや喜びを味わい、知識や技能を高め、運動を豊かに実践することができるようとする。										
5 取組内容	<p>平成31年1月31日（木曜日） 9:00～12:50</p> <p>1校時（9:00～9:50） 3年1組</p> <p>2校時（10:00～10:50） 3年2組</p> <p>3校時（11:00～11:50） 3年3組</p> <p>4校時（12:00～12:50） 3年4組</p> <p>使用した用具</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">○ブラインドボール</td> <td style="width: 70%;">15球</td> </tr> <tr> <td>○アイマスク</td> <td>12枚</td> </tr> <tr> <td>○フットサル用ゴールポスト</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>○ホイッスル</td> <td>2個</td> </tr> <tr> <td>○カラーコーン</td> <td>4個</td> </tr> </table> <p>〔ゴールボール〕</p> <p>ルールと試合の流れをつかむためにアイマスクを使用せずに実施。 (ブラインドボールを使用)</p> 	○ブラインドボール	15球	○アイマスク	12枚	○フットサル用ゴールポスト	1組	○ホイッスル	2個	○カラーコーン	4個
○ブラインドボール	15球										
○アイマスク	12枚										
○フットサル用ゴールポスト	1組										
○ホイッスル	2個										
○カラーコーン	4個										



アイマスクをつけて、歩行練習。(アイマスクを使用)



その後、試合開始。



想像していた以上の難しさに驚いていたが、転がるボールの音を頼りに楽しくプレーすることができた。

〔ブラインドサッカー〕



ボールはすぐ目の前にあるのに、ぶつかることへの不安からか、なかなか前へ進めない様子。



手をつないでプレーする生徒  
が多かった。



指示係をつけるとゲームがスムーズに行えるのではないかと気づいた。しかし、なかなか連携できずに悪戦苦闘していた。



ようやく慣れてきて、ドリブルにチャレンジしてみたり、足を出してみたりする生徒が出てきた。

6 主な成果 本事業の成果を、次の2点に分け、生徒の感想や意見文（枠内）をもとに報告する。

1. パラリンピックや障がい者スポーツへの興味・関心を高めることが出来た。

ブラインドサッカーを体験して、最初は無理だと思っていたけど、やってみると面白かった。高いレベルの試合を見てみたいと思いました。

2. オリンピズムの教育的価値を知ることができた。

先生の話にあったように、人の感覚の一つである「視覚」を制限することで、ゲームがすごく難しくなったけど、工夫をすれば、誰でもスポーツを楽しむことが出来るということに気づくことが出来た。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>視覚に障がいあっても、ボールを工夫することで、サッカー（スポーツ）を楽しむことが出来ることなど、ちょっとした工夫で、誰でもスポーツを楽しむことが出来ることを実感させたいと考えた。</p> <p>そのため、当初はブラインドサッカーのみの実施を予定していたが、安全面を考慮し、ゴールボールもあわせて実施した。ブラインドサッカーについては、安全に楽しく実践できるよう、走ることは禁止し、互いに声を掛け合うよう注意を呼びかけた。</p>
8 主な課題等	<p>計画的に事業を進めることが出来ずに、単発的に行ったことが大きな課題である。ルールや安全面での指導も含めると、1時間での実施は無理があった。生徒が気づいた指示係をつけるということを取り入れることができたが、個々の能力に差があり、安全面で不安な要素があった。事前にルールの学習や競技の様子を映像で見せるなどして、イメージを持たせることが重要だと感じた。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>授業を実施した、保健体育科の教員の感想で報告する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>今回、パラリンピック競技種目を体育の授業で実践しましたが、想像以上に生徒が積極的に取り組む姿が見られて驚きました。今後は他の種目についても可能な範囲で実践し、スポーツに対する興味・関心をさらに高めていくよう工夫していきたいです。また、実践していく中で気になった種目については、調べ学習をさせ、卒業後もスポーツを続ける意欲を高めるきっかけとして、パラリンピック競技種目を取り入れていきたいと考えています。</p> </div> <p>保健体育科の年間指導計画に「ブラインドサッカー」を位置付けてるとともに、総合的な学習の時間等で、パラリンピックの競技や選手、戦績などについて学習するように計画する。</p> <p>さらに、学校行事やPTA行事でアダプティドスポーツを楽しめるように工夫していきたい。</p>